

WELCOME

第33回

KYOTO

近畿ブロック社会福祉士会 研究・研修 京都大会



平安な世の中を目指して 未来に向けた発信を

～多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク～



開催日

2026年 2月 14日 土・15日 日

会場

花園大学

主催 近畿ブロック社会福祉士会 研究・研修大会 実行委員会

後援 (予定) 京都府、京都市、京都府社会福祉協議会、京都市社会福祉協議会、日本社会福祉士会、京都府介護福祉士会、京都精神保健福祉士協会、京都医療ソーシャルワーカー協会、京都府介護支援専門員会

第33回 近畿ブロック社会福祉士会研究・研修 京都大会 開催要項

■ 大会テーマ

平安な世の中を目指して 未来に向けた発信を ～多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク～

■ 開催趣旨

前回の京都大会の開催は2020年1月31日～2月1日でした。その直後から、爆発的な広がりを見せた新型コロナウイルス感染症は、現在も医療や福祉の現場では対策を怠ることができない状況が続いています。また、世界各地で起こっている戦争は収まる様子もなく「分断」が進行しているように感じられます。

日本においては、コロナ禍以降の社会の変化や近年の物価高騰等により、経済的に困窮している人への支援が課題となっています。この他にも、地域から孤立している人、外国にルーツを持つ人、災害の被災者、LGBTQ当事者、DV被害者、難病患者、医療的ケア児等々…、多様な人々が支援を必要としています。しかし、残念ながら、解決できなかったり、支援が行き届かなかったりする状況が続き、社会全体が不安定なものになっています。

このような複雑で混迷する社会状況だからこそ、私たち社会福祉士は『倫理綱領』にある「すべての人が人間としての尊厳を有し、価値ある存在であり、平等であることを深く認識する。われわれは平和を擁護し、社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重および全人的存在の原理に則り、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職であり、多様な人々や組織と協働することを言明する」を改めて確認し、行動していくことが求められています。

さて、今大会のテーマは「平安な世の中を目指して 未来に向けた発信を ～多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク～」です。開催地の京都は、長い歴史の中で多様な価値観、宗教観、文化が形成され、共生してきた街です。今回メインテーマに掲げた「平安」という言葉は、古めかしく聞こえるかもしれませんが、その言葉に込められている「静寂や安寧」は、混迷する現代にも通ずる普遍的な願いだと考えています。

社会福祉士が「平安」な社会を目指して専門性を発揮し、より良い実践を行えるよう、本大会では「多様性」「社会正義」という部分にスポットを当て、参加者と皆様と共に学び、考えることができる有意義な大会にしたいと思っています。

- 主 催 近畿ブロック社会福祉士会研究・研修大会 実行委員会
(事務局：一般社団法人 京都社会福祉士会 京都大会実行委員会)
- 開催日 2026 年 2 月 14 日 (土)・15 日 (日)
- 会 場 花園大学 返照館 (〒 604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1)
- 定 員 200 名

■ 参加費

	2 日間	1 日のみ	懇親会費
社会福祉士会会員	7,000 円	4,000 円	
一 般	11,000 円	6,000 円	5,000 円
学 生	1,000 円	500 円	

■ 懇親会

日時 2026 年 2 月 14 日 (土) 18:00 ~ 20:00

会場 花園大学 真人館 カフェテリア「ふる〜る」

■ 申込み

本大会へのご参加のお申込み詳細は p.9, 10 をご覧下さい。



京都体験イベントのご案内



今回、京都らしさを少しでも味わっていただきたく、大会初日の 2 月 14 日 (土) 午前に京都の文化に触れる体験等のイベントを企画してみました。

別途、参加費はかかりますが、興味、関心のある方は是非ご参加ください！

京都体験イベント (予定)

2026 年 2 月 14 日 (土) 午前

- ・ 京友禅の体験
- ・ 篆刻 (一文字印) の作成教室
- ・ 念珠作り
- ・ 平安京創生館の見学 (無料)

詳細は決まり次第、京都社会福祉士会の HP で掲載します。

<https://www.cswkyoto.or.jp/>



- 参加のお申込みは、大会受付開始日 **10 月 10 日 (金)** 正午からスタートします。下記の URL 又は QR コードからお申込みください。なお、本イベントは大会参加申込とは別のお申込みになりますのでご注意ください。
- 当日の集合時間、参加費の支払い方法等については、申込み者へ後日メールにてお知らせします。

京都体験イベントのお申込はこちら！

<https://forms.gle/7sn2rHQTz1PZngzt9>



プログラム

【1日目】 2月14日(土)

12:30 受付

13:00 開会式

13:15 シンポジウム

【テーマ】

「～多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク～」

「多様性」、「社会正義」という言葉は、社会福祉の分野においても広く使われていますが、正しく理解されていないケースも散見します。そこで今回は、京都府内で活動される方々をお招きして、それぞれの実践や経験等を通して「多様性」「社会正義」についてお話していただきます。

【シンポジスト】

「生きづらい経験×習得スキルが活かされた支援～多様な個性と困りと未来～」

朝倉 美保氏 (NPO 法人 Reframe 代表理事)

「外国ルーツの人たちの抱えている生きづらさと支援のネットワークの必要性
～支援者へのアンケート調査から見えること～」

村木 美都子氏 (京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク「モア」事務局)

「当事者性を活かしたソーシャルワーク」

栗山 由生氏 (NPO 法人ソーシャルアクション・パートナーシップ 理事長)

【コーディネーター】

福富 昌城氏 (花園大学 社会福祉学部教授)

15:30 休憩

15:45 分科会・ポスター発表

【会員実践・研究発表】

■ 第1分科会 和歌山県社会福祉士会

■ 第2分科会 大阪社会福祉士会

■ 第3分科会 京都社会福祉士会

分科会・ポスター発表のお申込み

右のQRコードもしくは、
京都社会福祉士会HPをご確認ください。

<https://www.cswkyoto.or.jp/>



17:25 1日目終了

18:00 懇親会

会 場：花園大学 真人館 カフェテリア「ふる～る」

参加費：5,000 円

【2日目】2月15日(日)

9:15 受付

9:30 分科会（県士会企画）

■ 第4分科会 滋賀県社会福祉士会

テーマ：『あんたから見えてる景色が見たいねん』
～10年後の彼と地域を見つめて～

■ 第5分科会 奈良県社会福祉士会

テーマ：地域で生きることを支える更生支援の実践
～矯正施設出所者等への包括的支援を考える～

■ 第6分科会 兵庫県社会福祉士会

テーマ：ヤングケアラー相談支援を通して、ソーシャルワークの力を感じる

11:30 休憩

12:30 記念講演

【演題】「仏教が示す多様性～平安な未来を目指して～」

【講師】 佐々木 閑氏（花園大学 特別教授）

14:00 休憩

14:10 表彰式

優秀発表者表彰・近ブロ賞及び近ブロ大賞の発表と表彰

【閉会のあいさつ】

一般社団法人京都社会福祉士会

◎次期開催担当県士会 公益社団法人 滋賀県社会福祉士会

14:30 閉会

【テーマ】

「多様性を尊重する社会正義とソーシャルワーク」

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義において「社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす」と述べられています。本シンポジウムで取り上げる「多様性の尊重」「社会正義」は、ソーシャルワーク実践の原理、すなわち「認識や行為の根本をなす理論」のうちの2つです。

人は一人ひとりに違いがあります。また、一人ひとりがそれぞれにパワーやストレングス（強さ）を持っています。その反面、その人が置かれた状況によっては、そのパワーやストレングスが上手に発揮できなかったり、環境からの抑圧によって生きづらさが生じます。その時、その生きづらさを抱えた人に対して必要とする手助けが社会的に用意できていないとすれば、あるいは社会的に用意されている支援の仕組みにその人が結びつくことができないとすれば、それは社会の不正義だといえます。

その生きづらさを軽減、あるいは解消することが、ミクロレベルのソーシャルワーク実践の役割です。また、そうした生きづらさを生じさせる社会の仕組みがあるとするなら、それを変化させていくのがメゾ・マクロレベルのソーシャルワーク実践の役割です。

ところが、「多様性を尊重」することによって「社会正義」がなされるのだということは抽象的には「そのとおりだ」といえたととしても、それが具体的にはどういう形を取るのかは、なかなか見えにくいものです。

今回は、その生きづらさを抱えている人たちの生活課題に応じてさまざまな取り組みを行っておられるシンポジストの皆さんと一緒に、「多様性の尊重」や「社会正義」について考えたいと思います。

【シンポジスト】

朝倉 美保（あさくら みほ）

- ・ 特定非営利活動法人 Reframe 代表理事
- ・ 株式会社みのりの森 代表取締役（ろすい塾 塾長）
- ・ 管理栄養士／チャイルドコーチングアドバイザー／心理カウンセラー 他

1979年京都市生まれ。京都府立大学人間環境学部食保健学科卒業後、一般企業に就職するが3年目にうつ病を発症。療養後、再就職をするが、すぐに適応障害になり退職。その後も転職を繰り返す。34歳で「発達障害」の診断が出たことをきっかけに、生まれながらの「生きづらさ」を自覚。2020年コロナ禍の「不登校」「子どもの自殺」の増加をきっかけに仲間を集めて、2021年 Reframe を設立。現在、年間のべ約4000人の支援を行っている。

著書

- ・ 「わたしは発達障がいカウンセラー」
- ・ 「発達障がい専門誌きらり。」 企画・執筆・編集・発行（休刊中）



村木 美都子（むらき みとこ）

- ・ NPO 法人東九条まちづくりサポートセンター「まめもやし」事務局長
- ・ 京都外国人高齢者障害者生活支援ネットワーク・モア「京都モアネット」事務局
- ・ 社会福祉士、精神保健福祉士

1963 年生まれ。1989 年 在日コリアン集住地である京都市南区東九条の歴史と現状を学ぶ、4 泊 5 日の「現場研修」に参加、以降、東九条地域の住民運動や地域福祉、まちづくり活動に関わる。2011 年より、京都モアネットメンバーとして、外国にルーツを持つ人たちに対して簡単な日本語や母語による生活支援や関係機関・近隣とのつながりづくりと、市民向け啓発活動を行う。

著書等

- ・「京都市東松ノ木市営住宅」、聞き手 筑波大学准教授 藤井 さやか、雑誌「住宅」、2024 年 5 月号
- ・ドキュメンタリー「番地のなかった街で～在日コリアン 2 世“最期の語り”」、NHK「目撃! にっぽん」、2020 年
- ・木津川市人権啓発動画「多文化編」、2020 年



栗山 由生（くりやま ゆうき）

- ・ NPO 法人ソーシャルアクション・パートナーシップ理事長
- ・ 一般社団法人京田辺みんなの働くプロジェクト代表理事
- ・ 社会福祉士、精神保健福祉士、主任相談支援専門員

1978 年京都府長岡京市生まれ。20 歳で交通事故に遭い脊髄損傷となり車いす生活となる。その後、介護予防施設の支援員を経て、2008 年に NPO 法人ソーシャルアクション・パートナーシップへ入職し、障害福祉と障害当事者運動に出会う。ヘルパー事業所、通所事業所の管理者を務め、現在は特定相談支援事業所の管理者兼相談支援専門員。当事者性を生かした相談支援や人材育成、地域連携に取り組んでいる。



【コーディネーター】

福富 昌城（ふくとみ まさき）

- ・ 花園大学 社会福祉学部教授・社会福祉士

同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻（修士課程）在籍中より、社会福祉法人聖徳園、枚方ホームケアセンターに非常勤ソーシャルワーカーとして勤務する。

1988 年、修士修了後、聖徳園に常勤職員として就職する。その後、1991 年から京都保育福祉専門学院、1997 年から滋賀文化短期大学勤務を経て、2001 年から花園大学社会福祉学部社会福祉学科勤務、2006 年より教授となり、現在に至る。

著書等

- ・「第 4 章 介護保険施設における社会福祉士の実態把握に関するヒアリング調査（社会福祉士による取組事例）」『介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業報告書』（令和 6 年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業））日本社会福祉士会、67-89 頁 2024 年
- ・「高齢者の自動車運転の継続・中止に関わるケアマネジャーによる運転中止支援」『高齢者の自動車運転に関する報告書』日本老年学会 2024 年他



テーマ：『あんたから見えてる景色が見たいねん』～10年後の彼と地域を見つめて～

形式：講義・他

趣旨・概要：いつも「はたらきもん」に寄り添い過ごしている“みっちゃん”。そんな“みっちゃん”と「はたらきもん」の物語が、2024年『しんどいからおもしろいねん』が刊行され、ますますパワーアップした“みっちゃん”こと野々村光子氏が登壇します。

地域共生社会の実現とは何か考えた時、その答えは簡単に見つからないし、人によって答えは違うかもしれません。地域共生社会とは何か、野々村光子氏と書籍のなかでも登場するカッコいい人、おもしろい人、自分の生き方を貫いている人などいろいろなはたらきもんたちと一緒に考えてみませんか。きっと野々村光子氏のトークを聞いて感じたことは、自分の地域共生社会実現のヒントになると思います。そしてなにより明日からの社会福祉が「しんどいけど、おもしろいかも」に変わる気がします。

講演者：野々村 光子氏（社会福祉法人わたむきの里福祉会 滋賀県 東近江圏域 働き・暮らし応援センター Tekito- 棒心）

テーマ：地域で生きることを支える更生支援の実践

～矯正施設出所者等への包括的支援を考える～

形式：講義と参加型シンポジウム（コーディネーターによる進行）

趣旨・概要：令和の時代に入り、「地域共生社会」の理念が浸透するなかで、福祉と司法という単一的な枠組みではなく、地域全体で重層的に支援を展開することが求められている。また、特定の機関が単独で業務を担うのではなく、誰もがそのプロセスに参加し、支援の調和が図られることが重要である。

とりわけ、矯正施設退所者や触法・高齢障害者への帰住先支援においては、地域生活定着支援センターや中間施設（更生保護施設・自立準備ホーム）との協働や地域の理解が欠かせない状況にある。

奈良分科会では、「更生支援」の実践に焦点を当て、出所者や触法・高齢障害者とその人らしく地域で生きることを支える支援のあり方について、制度論と実践論の両面から学ぶ機会とする。

講義では、矯正施設・保護観察所・医療少年院・地域生活定着支援センター・地方自治体といった多機関連携の現状と課題を概観するとともに、地域における包括的支援体制の構築とその担い手としてのソーシャルワーカーの役割について掘り下げる。

後半の参加型シンポジウムでは、コーディネーターの進行のもと、実践に即した視点から議論を深める。とくに「刑務所にいる人は心がふさがれている」「外から閉ざされているふさがりを外すには人の関わりが必要」「それは人のやさしさであり、共感である」「共感する人がいないと話せない」といった現場の声を出発点に、参加者全体で共有し、支援の在り方をともに探る場としたい。

講演者：鷲野 明美氏（日本福祉大学福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科教授）

テーマ：ヤングケアラー相談支援を通して、ソーシャルワークの力を感じる

形式：シンポジウム

趣旨・概要：全国に広がりを見せているヤングケアラー支援ですが、自治体ごとに支援事業は様々で、支援団体は少なく偏在している状態です。支援対象が長期間生活課題を抱えている実態が見えてきたり、相談支援を続けていくと支援対象が広がっていくこともあります。具体的なヤングケアラー支援内容を共有し、施策と社会資源を結びつけるソーシャルワークの力を感じてみましょう。

シンポジスト：京都・滋賀・奈良のヤングケアラー支援担当で調整中

「仏教が示す多様性～平安な未来を目指して～」



佐々木 閑 (ささき しずか) 花園大学 特別教授

1956 年福井県生まれ。京都大学工学部工業化学科および文学部哲学科卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程満期退学後、米国カリフォルニア大学バークレー校留学を経て花園大学文学部教授。

2022 年定年退職後、現職。文学博士。専門はインド仏教学、仏教哲学、仏教僧団史。日本印度学仏教学会賞、鈴木学術財団特別賞受賞。

著書

- 『出家とはなにか』『インド仏教変移論』（大蔵出版）
- 『日々是修行』（ちくま新書）
- 『生物学者と仏教学者 七つの対論』ウェッジ、（斎藤成也氏との共著）
- 『「律」に学ぶ生き方の智慧』（新潮選書）
- 『仏教は宇宙をどう見たか - アビダルマ仏教の科学的世界観』（化学同人）
- 『100分 de 名著ブックス ブッダ 真理のことば』（NHK 出版）
- 『100分 de 名著ブックス 般若心経』（NHK 出版）
- 『100分 de 名著ブックス ブッダ 最期のことば』（NHK 出版）
- 『本当の仏教を学ぶ一日講座：ゴータマはいかにしてブッダとなったのか』（NHK 出版）
- 『大乘仏教 - こうして釈迦の教えは変容した』（NHK 出版）
- 『科学するブッダ 犀の角たち』（角川ソフィア文庫）
- 『ブッダ 100 の言葉』（宝島社）
- 『ブッダに学ぶ「やり抜く力」』（宝島社）
- 『出家的人生のすすめ』（集英社新書）
- 『真理の探究 - 仏教と宇宙物理学の対話』（大栗博司氏との共著・幻冬舎新書）
- 『ごまかさない仏教：仏・法・僧から問い直す』新潮選書（宮崎哲弥氏との共著）
- 『ネットカルマ』（角川新書）
- 『大乘仏教 - ブッダの教えはどこへ向かうのか』（NHK 出版新書）
- 『宗教は現代人を救えるか 仏教の視点、キリスト教の思考』（平凡社新書）（小原克博氏と共著）
- 『仏教の誕生』（河出新書）
- 『ブッダ 繊細な人の不安がおだやかに消える 100 の言葉』（宝島社）
- 『宗教の本性』（NHK 出版新書）
- 『人生後半、そろそろ仏教にふれよう』（古舘伊知郎氏との共著、PHP 新書）
- 『仏教は、いかにして多様化したか - 部派仏教の成立 - 』（NHK 出版）

第33回 近畿ブロック社会福祉士会研究・研修 京都大会 ＜参加申込詳細＞

1. お申込みについて

- 1) 本大会へのご参加のお申込みは本大会申込 WEB サイト
(名鉄観光申込専用サイト https://www.mwt-mice.com/events/jscsw_kinki33) よりお申込みください。
- 2) **本大会への WEB サイトからのお申込みは 2025 年 10 月 10 日 (金) より可能となります。**
- 3) 申込登録が完了いたしましたら、自動でご登録アドレスに「申込完了メール」が届きます。
- 4) 申込完了メールに、振込案内が記載されていますので期日までにお振込みをお願いいたします。
(振込手数料はお客様ご負担となります)
- 5) ご登録内容の確認は、本大会申込WEBサイトのマイページからログインしてご確認ください。
- 6) **お申込み締め切り日は、2026 年 1 月 19 日 (月) でございます。**

2. 研究・研修大会参加費について「名鉄観光サービス株式会社が代行収受いたします」

種別	期間	参加費
都道府県社会福祉士会会員	2 日 間	7,000 円
	1 日のみ	4,000 円
一般参加者 (非会員)	2 日 間	11,000 円
	1 日のみ	6,000 円
学生 (本業を持った学生は除く)	2 日 間	1,000 円
	1 日のみ	500 円

(すべて税込)

(注) 入金後の参加費は、理由の如何を問わず返金できかねますのでご了承願います。

(後日大会資料を送付させていただきます)

3. 懇親会について「名鉄観光サービス株式会社が代行収受いたします」

開催日時：2026 年 2 月 14 日 (土) 18:00~20:00

参 加 費：お一人様 5,000 円 (税込) 食事代、飲物代を含みます

会 場：花園大学 カフェテリア「ふる～る」

4. 弁当のご案内

●2026年2月15日 (日) のご昼食として、お弁当を別途ご用意します。

◆お弁当 (お茶付) ……1個 1,100円 (税込)

5. 変更・取消について

●申込締切まで……変更・取消の際は、ホームページより、ご自身でログインしていただき変更をお願いいたします。

●申込締切後……受付システム問合せフォームにて名鉄観光京都支店までご連絡をお願いいたします。

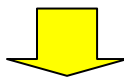
●取消の基準日は、当社の営業日・営業時間内 (月～金/10:00～17:00) を有効と致します。

●入金後の参加費は、理由の如何を問わず返金できかねますのでご了承願います。

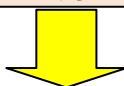
第33回 近畿ブロック社会福祉士会研究・研修 京都大会 ＜参加申込の流れ＞

- 大会参加について下記の要領でお申込ください。
- 当日、『大会参加券』・『分科会参加券』・『懇親会参加券』・『お弁当券』をダウンロードしてご持参ください。
- 申込締め切り後の変更・取消の際は、受付システムの間合せフォームにてご連絡ください。
お電話での取消・変更はトラブルの原因となりますので、一切受付いたしかねます。
申込WEBサイトは、京都社会福祉士会のホームページからもご確認いただけます。

近畿ブロック社会福祉士会研究・研修 京都大会開催要項を配布
2025 年 9 月上旬頃から

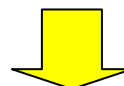


名鉄観光サービス(株)京都支店 参加受付開始
2025 年 10 月 10 日 (金)

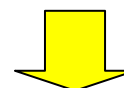


WEB での申込

(URL:https://www.mwt-mice.com/events/jscsw_kinki33)



申込締切日・・・・・・・・・・2026 年 1 月 19 日 (月)



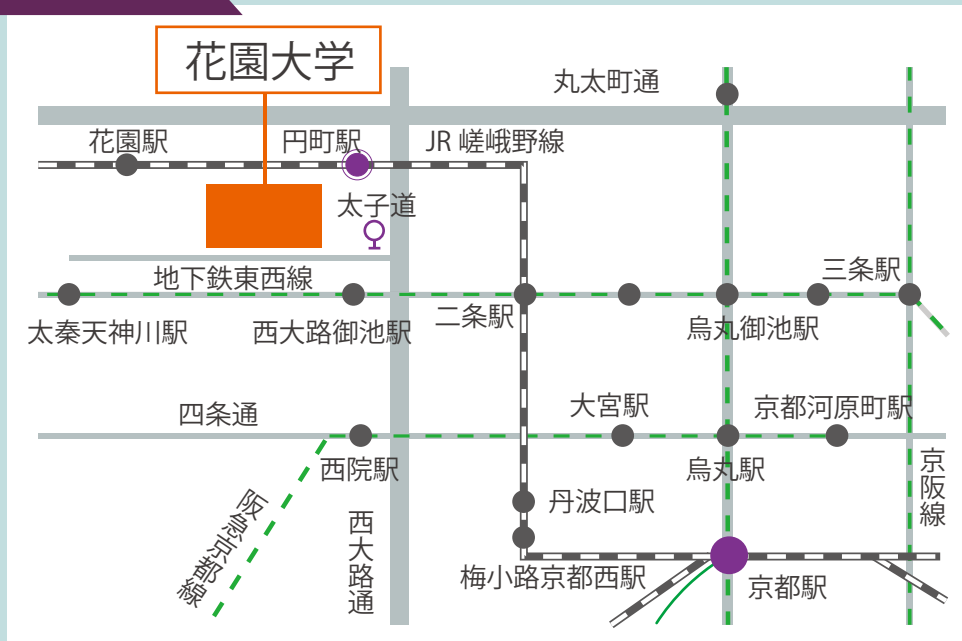
参加費等の振込期日 2026 年 1 月 26 日 (月)

＜参加申込み先＞



名鉄観光サービス株式会社京都支店(観光庁長官登録旅行業第 55 号・日本旅行業協会正会員)
〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入月鉦町 62 住友生命京都ビル 6 階
TEL : 075-255-2211 / FAX : 075-255-8511
【営業時間 月～金曜日/10:00～17:00 土日祝日は休業】
■旅行業務取扱管理者 : 田端 基芳 ■担当者 : 吉田・齋藤・西村

会場へのアクセス



花園大学への
アクセス

京都駅より

JR 嵯峨野線「円町駅」下車 徒歩 8 分
市バス 26・205「太子道」下車 徒歩 8 分
「京都駅」までは JR「大阪駅」から約 30 分、JR「草津駅」から約 20 分、
近鉄「大和西大寺駅」から約 40 分

京阪三条駅より

京都バス 62・63・65・66
「西ノ京馬代町（花園大学前）」下車 徒歩 2 分
京阪三条駅までは 京阪「枚方市駅」から約 30 分

阪急西院駅より

市バス 26・特 27・27・91・202・203・205「太子道」下車 徒歩 8 分
阪急西院駅までは 阪急「梅田駅」から約 40 分

四条烏丸・四条
大宮より

市バス 26・27・91・203「太子道」下車 徒歩 8 分

花園大学キャンパス



キャンパス
マップ